

# ちよっと谷戸沢

## 令和6年（2024年）度生態モニタリング調査結果

### ①植 物

植物は、107科555種が確認されています。処分場の周りの森ではエビネやムヨウランが生育し、水辺ではサクラタデやクサレダマのほか、イトモやツツイトモなどの水草も生育しています。今年度はタチクラマゴケが処分場内で初確認されました。



エビネ



タチクラマゴケ

### ②鳥 類

鳥類は、34科78種が確認されています。周辺の水辺ではヒクイナが初確認されました。周辺の森にかけた巣箱でフクロウのヒナが巣立ちました。処分場内ではホオジロやカイツブリなども子育てをして、にぎやかになります。サシバなどの猛禽類もみられます。



カイツブリと巣



サシバ

### ③昆虫類

昆虫類は、230科1168種が確認されています。周辺の森や草原ではオオムラサキを始めとした様々なチョウ類、ヤマトタマムシなどのコウチュウ類、水辺ではコサナエなどのトンボ類が繁殖しています。今年度はジャコウアゲハ(幼虫)が初確認されました。



ヤマトタマムシ



ジャコウアゲハ(幼虫)

### ④哺乳類

哺乳類は、12科20種が処分場内及びその周辺で確認されています。ススキ草原にはカヤネズミの球巣が200個以上見つかりました。森にはムササビの食痕、グラウンドにはタヌキやキツネの足跡も見つかります。キクガシラコウモリなども生息しています。



ニホンジカ



タヌキ

### ⑤両生類

両生類は、6科9種が埋立地の水辺や周辺の森で確認されています。毎年処分場内ではトウキョウサンショウウオやモリアオガエルが繁殖しています。近年ではアズマヒキガエルの確認が増えています。カエルたちが水路を安全に渡れるように工夫しています。



モリアオガエル



アズマヒキガエル

### ⑥爬虫類

爬虫類は、5科9種が埋立地や周辺の森で確認されています。草原や周辺の森に棲むニホンカナヘビやニホンマムシ、水辺に現れるシマヘビやヤマカガシなど、多くが絶滅危惧種です。記念館には灯りに集まる昆虫を食べるためにニホンヤモリが棲みついています。



ニホンマムシ



ニホンヤモリ

### ⑦水生生物

水生生物は、53科105種が湿地ビオトープや周辺の水辺で確認されています。トンボ類の幼虫(ヤゴ)が多く、サワガニ等の甲殻類、処分場内で唯一の魚類のホトケドジョウなども確認されました。都内では珍しいケシゲンゴロウが久し振りに見つかりました。



クロスジギンヤンマ



ケシゲンゴロウ

今年度の谷戸沢処分場内の調査では、1900種以上の生き物が確認されています。また、その中には142種の絶滅危惧種が含まれています。生き物にとってくらしやすい「里山的自然環境」が谷戸沢処分場に再生していることを、生き物たちが教えてくれます。

